

採れたて!!

わかごぼうのニュース

No.82

発行 2021年1月
八尾市パーソナルサポートセンター
大阪府八尾市本町 1-4-1-201
TEL:072-999-7900

ポップな甘さのはずが深くピターに

チョコにも色々種類がありますが、空気が入ったサクサクとした食感のチョコは、今までのチョコのイメージを変えるものでした。そんなエアインチョコを再現してみることにしました。市販されているものと同じ食感を作ることが出来るでしょうか？

エアインチョコに必要なのは、チョコレートと重曹、水の三つです。計量はもう一人のメンバーに頼んで、僕は板チョコを細かく刻んでいきました。ザクザクと用意された分のチョコをすべて刻んでいき、ホワイトとミルク&ピターのミックスの二つに分けて、耐熱容器に入れて準備は万全です。チョコをレンジで加熱しました。出してみるとまだチョコの形が残っていて、溶かすために少しずつ加熱時間を延長、すると中の水分が抜けてしまいました。不安を感じながら水と重曹を混ぜ合わせて型



に入れて再加熱しました。取り出すと焦げた臭いを漂わせる物体が：失敗の匂いがありますが、味を確かめるまではわかりません。不安を押し込んでチョコを冷蔵庫へ。次はレンジ通りの時間で取り出し、混ぜてみましたが、成功しているか分からずじまいでした。どちらも一時間冷やして、味が美味しいか試食するため、型から外します。パーの方はシリコン製だったので簡単に取れたのですが、もう一つの型は冷え固まって型とチョコレートがしっかりと引っ付いてしまつて取れず、なんとか外すも形を保てずバラバラになってしまいました。型の種類は重要だったようです。

モー新年



紙を絵の具に絵を描く

キャンパスに筆で絵を描くように、和紙を手でちぎって貼り付けて絵を描くちぎり絵に挑戦しました。



〇やってみて

紙をちぎる際に、繊維が切れる心地よい音がして、でんぶん糊の匂いや和紙特有の匂いも感じながら作業をしました。完成図を思い描きながら紙をちぎっては貼り付けると、目に見えて絵が出来ていく。そんな感じのものがちぎり絵なんだと思いました。僕は細かい作業をする機会がなかったので、肩が凝りそうです。出来上がりは、初めての割に上手く出来たと思います。

わかごぼうは

失敗できる場所

家とは違う場所へ出かけた。でもいきなりは不安。お話できなくても一緒に過ごしてみよう。失敗しても構いません。そこからたくさんのお話を学べるから。

八尾市社会的居場所事業

わかごぼうに 来ませんか？

- ☆参加対象になる方
- ◇社会参加を望みながら不安を感じている方
- ◇これからの自分を考えたい
- 家族以外の人との関わりが薄い方
- ※また、その方のご家族・親族の方もご相談いただけます。(込み合う場合がございますのでご予約下さい。)

今を変えたいけど、どうしたらいいかわからない。そんなあなたに答えるための社会的居場所です。



開催時間：毎週木曜日 14:00-16:00
開催場所：わかごぼう
八尾市南本町7-6-23
※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨

お問い合わせ＆参加申込み
電話：072-992-6921
✉ : wakagobou@yaops.jp
電話受付時間：10:00-17:00 (祝日除く月～金)

自分のペースで参加できます。



ワンもあまる

冬の部屋に、陽の光を模した飾りを

冬の寒さも本格を増す中、フィンランドではヨウルという冬至の時期に行われる祭を彩る伝統装飾品、ヒンメリというものがあります。作り方は、藁に糸を通して多面体を作り上げます。本来は藁を使うものなのですが、藁は手に入れることがむずかしかったので、代用として竹で出来たストローやカラフルなストローなどを用意しました。

〇やってみて

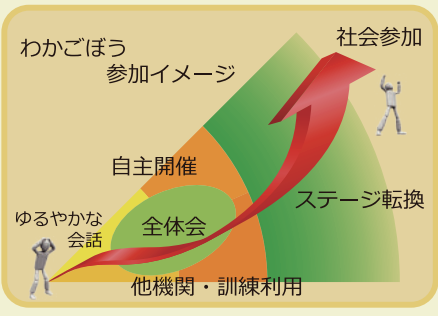
私は、小さめのヒンメリを作りました。少し小さめのヒンメリを作るために、ストローの長さを短くそろえるのが大変でした。切り終わった後は、作り方を隣でレクチャーしてもらいながら、何とか作り上げていきました。立体的になるように、糸を固結びにしたりまするのがむずかしかったです。説明を読んで、難しい部分があつて、スタッフさんにアドバイスをもらいながら、自分の力でやっています。細かい作業は苦手な方なので、もっと手先が器用になりたいなと思いました。



八尾市社会的居場所事業

「わかごぼう」について

スモールステップを積み重ねて自己を認容し元気を回復した後、自身が望む社会参加を実現する拠点になる事業です。



クモの糸がめぐるワール。。。

冬も本格的になってきて、乾燥が気になる季節です。今回はエコで気軽に加湿が出来るをコンセプトとして、水を気化させて加湿するフェルト加湿器を作る事にしました。使う材料はフェルト、道具もグルーガンやハサミ、ほとんどが百均などで手に入るものばかりでビックリもしましたが、お手軽に作れるのは嬉しい限りです。

まずは型紙づくりです。僕は木をイメージして書きました。水を入れる器の高さ、幅をしっかりと測り、それを幹のサイズにして、もみの木をイメージしてギザギザに描きました。

型紙を切り終えたら、フェルトに型を転写して、ハサミで切っていきます。切ってみると、フェルトを普通のハサミで切るのは難しい…なかなか切り進めないままでしたが、何とか全てのフェルトを切り終えました。

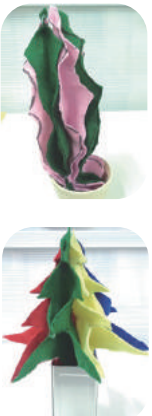
次は、フェルト同士をグルーガンでくっつけていきます。グルーガンを使うのは初めてだったので、動画などで何度も使うシーンは見ていたので気軽にやってみると、扱いに案外コツがあることに気が付きました。

普段の糊のような感覚で使うと、固まってしまつて接着することが出来なかつたり、グルーガンスティックが細くまるでクモの糸のようにあちこちにくっついて、うっとおしい思いをしました。

そんな思いをしつつも、立体的な加湿器が出来上がりました。〇やってみて

フェルトの加湿器づくり疲れしました。デザインがなかなか決まらなくて型を考えるだけで時間をかけてしまいました。型どおりに切るのもむずかしくて少し歪んでしまいました。フェルトを切るとき、勧められたハサミは私には重くて、普通のハサミで切ることにしたのですが切りにくくて、途中から手伝ってもらって何とか切り終えました。フェルトに糊を塗ったときに手に糊が付きながらも、くっつけていきました。パーツを作っていた

て、それを合体させて立体的に仕上げました。出来ないかもと心配になりましたが、出来上がってよかったです。



私とついでのお年玉

年末に、八尾市外に引っ越した居場所仲間Hさんから『住所を教えてください？』とのメールが届きました。なんでも、私好みの絵ハガキを発見したらしく送りたいから、との嬉しい申し出でした。

断る理由が皆無だったので住所を伝えたとき、ふと『でっけい、住所知らなかつたなあ。』Hさんが市外に引っ越す前は自転車約三分の距離だったので、住所を知る必要がなかつたのです。

そう思った思い出を思い出しながら、日にちは過ぎて、一月五日にそのハガキが届きました。可愛い小鳥と天道虫、葎が描かれたイラストのハガキで、私好みどストライクでした。

私が天道虫が好きって話したのも、もう六年くらいも前の事だったので、よく覚えてくれたなあ…と感動しました。仕事の疲れも一気に吹き飛ばすほどに。『お年玉』を貰わなくなって、早数十年。

年齢的にもあげることはあつても、貰うことは二度とないと思つていた私にとつて、凄くうれしいお年玉でした。私もまた、Hさんの好きそうなものを見つけたら、送りたいなあ…と新たな楽しみが出来たできごとでした。

これからのわかごぼう

来月は、台湾や香港などで旧正月に食べられているニンゴウというお餅づくりや、専門知識を持つスタッフから絵を学ぶ絵画教室、自分を客観的に見る心理テストなどを予定しています。もちろん、いつものボランティアやテーマトークもありますよ。

みんな似ている。ひとりにはよくない。つながる力を身に着けよう。八尾市社会的居場所わかごぼう新規参加者募集中です。

